

令和元年度生物多様性保全推進交付金(エコツーリズム地域活性化支援事業)の採択団体一覧

No	協議会名称	事業の概要
1	てしかがえこまち推進協議会 (北海道)	新規エコツアーの造成とガイド育成等による質の向上、自然資源のモニタリング、エコツーリズムのルール共有等を行い、平成28年11月に認定されたエコツーリズム推進全体構想を見直し、各種関連事業者との連携強化により循環型地域経済の確立を行う。
2	檜原村エコツーリズム推進協議会 (東京都)	平成30年4月に認定されたエコツーリズム推進全体構想をもとに、昨年度設置したインフォメーションセンターを今年度も継続して開設し、利用者の利便性向上等を図るとともに、資源調査を行い、新たなエコツアーの造成に取り組む。
3	伊豆半島ジオパーク推進協議会 (静岡県)	エコツーリズム推進全体構想の認定申請を行うとともに、エコツーリズムの普及啓発・理解促進を目的としたリーフレットの作成・配布の実施、新規の伊豆半島ジオガイド養成講座を実施し、エコツーリズムの担い手を増やす。
4	軽井沢町エコツーリズム推進協議会 (長野県)	エコツアーの商品造成に向けた検討、研修会や先進地視察の実施等を行い、エコツーリズム推進全体構想の作成を進め、次年度中の認定を目指す。
5	東近江市エコツーリズム推進協議会 (滋賀県)	令和3年度(2021年度)のエコツーリズム推進全体構想の認定申請を目指し、策定委員会等の開催、推進体制の検討、自然観光資源の調査・整理、人材育成等を行う。
6	吉野川紀の川源流ツーリズム推進協議会 (奈良県)	エコツーリズム推進全体構想の認定申請を行うとともに、有償ガイドだけでなく村民が活躍できる源流ツーリズムを推進する新組織の次年度設立に向けたルール作り等の検討や、源流ツーリズムの質の向上に向け、認知度向上のためのガイドブック等を作成する。
7	にちなんエコツーリズム推進協議会 (鳥取県)	令和3年度(2021年度)のエコツーリズム推進全体構想の認定申請を目指し、オオサンショウウオ、ヒメボタル等の生息状況調査(資源調査)、ツアープログラムの作成・実施、保全及び利用のルール・体制づくりの検討を行う。
8	阿蘇ジオパーク推進協議会 (熊本県)	エコツーリズム推進全体構想については今年度認定を目指しており、全体構想に基づく資源調査や研究活動の実施、ジオサイトのデータベースの構築、阿蘇地域通訳案内士育成等計画に基づく認定ガイドの擁立や研修の実施、阿蘇ジオパークブランドのプロモーション活動を展開する。